

## 1. 学歴

1980年 3月 東北大学文学部卒業  
1980年 4月 東北大学大学院文学研究科前期課程入学  
1982年 3月 同修了

## 2. 職歴・研究歴

1982年 4月 東北大学文学部助手  
1984年 4月 福岡大学人文学部専任講師  
1990年 4月 一橋大学経済学部専任講師  
1993年 4月 一橋大学経済学部助教授  
1994年 9月 ケンブリッジ大学英語学部客員研究員(1995年7月まで)  
1995年 9月 ダブリン大学トリニティ・カレッジ英語科客員研究員(1996年3月まで)  
2006年 7月 一橋大学大学院経済学研究科教授

## 3. 学内教育活動

### A. 担当講義名

#### (a) 学部学生向け

英語ⅠA, 英語Ⅱリーディング, 英語Ⅲリーディング, 経済文化

#### (b) 大学院

各国経済思潮

### B. ゼミナール

学部前期, 学部後期, 大学院

### C. 講義およびゼミナールの指導方針

英語ⅠAでは、夏学期はフィクション、冬学期は新聞雑誌記事を講読し、主に英文読解力をつけることを主眼にしている。語彙力養成のため、英英辞書の使用を奨励している。授業では訳読はあまり重視せず、音読、単語・慣用句・構文・類義語と反義語・派生形・語源などの理解を重視する。また英文レポートを書く作業を通じて表現力の養成も目指す。

経済文化では *The Financial Times* 紙などを扱い、経済関連の語彙や表現を学ぶことにより、やや高度な経済英語力の養成を目指す。

学部ゼミナールは共通ゼミとして開いている。テーマは17-20世紀イギリスおよびアイルランドの文化と間口が広いが、具体的な研究テーマは参加者と相談して決める。3年次は基本的文献の精読、4年次は卒業論文の製作のための調査と定期的な中間報告に充てる。

各国経済思潮では18世紀英国経済思想について、当時の文献を読みながら考察する。大学院ゼミナール

では受講者と相談の上、テーマを決めてイギリス関連の問題について研究する。

---

#### 4. 主な研究テーマ

- (1) 17・18 世紀英国の文学と思想
- (2) ジョナサン・スウィフト
- (3) サー・ウィリアム・テンブル

---

#### 5. 研究活動

##### A. 業績

###### (b) 論文(査読つき論文には\*)

- \* 「字義化された書物—スウィフトの『桶物語』における活字印刷上の工夫—」『試論』第 22 集, 1983 年 7 月, 43-65 頁。
- \* 「スウィフトの初期風刺作品にみられるホッブズの要素」『試論』第 26 集, 1987 年 7 月, 19-41 頁。
- "Thomas Hobbes and the Satire on Enthusiasm in Swift's *A Tale of a Tub*" 『福岡大学総合研究所報』第 107 号, 1988 年 3 月, 11-25 頁。
- "Thomas Hobbes and Swift's *A Tale of a Tub* : An Essay on the Problem of Criticism" 『福岡大学総合研究所報』第 108 号, 1988 年 3 月, 15-27 頁。
- 「スウィフトの医学的風刺」『一橋論叢』第 105 巻第 3 号, 1991 年 3 月, 326-340 頁。
- \* "Swift and the State-Physician" 『試論』第 31 集, 1992 年 6 月, 23-29 頁。
- "Jonathan Swift and Freemasonry," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 38, No. 1, 1997, pp. 13-22.
- 「ジョナサン・スウィフトと医師たち」『一橋論叢』第 118 巻第 3 号, 1997 年, 438-454 頁。
- 「サリー州ムアパーク—サー・ウィリアム・テンブルの屋敷とその歴史」『言語文化』第 35 号, 1998 年, 69-80 頁。
- 「サー・ウィリアム・テンブル(1628-1699)」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第 36 号, 1999 年, 179-220 頁。
- "The Economic Theme in *Gulliver's Travels*," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 42, No. 1, 2001, pp. 41-58.
- 「ジョナサン・スウィフトと政治経済」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第 39 号, 2002 年, 99-157 頁。
- 「『桶物語』の政治的意義」『言語文化』第 42 号, 2005 年, 61-75 頁。
- \* "Swift on Conspiracy" 日本ジョンソン協会編『十八世紀イギリス文学研究第 3 号—躍動する言語表象』(開拓社, 2006 年), 172-94 頁。
- 「近代初期英国におけるフリーメイスン」『言語文化』第 44 巻, 2007 年, 3-17 頁。

##### B. 最近の研究活動

###### (a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には\*)

18 世紀イギリス文学文化研究会

###### (d) 研究集会オーガナイズ

18 世紀イギリス文学文化研究会

---

## 7. 学外活動

### (a) 他大学講師等

中央大学法学部

### (b) 所属学会および学術活動

日本ジョンソン協会(2009年より新人賞選考委員長), The Ehrenpreis Center(Westfälische Wilhelms 大学),  
18世紀イギリス文学文化研究会(発表およびオーガナイズ)